

建築改修工事特記仕様書

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という）、「建築改修工事監理指針 令和4年版」及び、「公共建築工事標準仕様書 令和4年版」（以下「標準仕様書」という）、「建築工事監理指針 令和4年版」による。
- 特記仕様書の適用方法
 - 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項に◎印の付いたものを適用する。
 - 項目に記載の表示番号は、各標準仕様書の当該項目を示す。特記事項について、（ ）は改修標準仕様書の記載内容、《 》は標準仕様書の内容を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という） 分類番号（○-○-○）は図示する。
	② 一般事項（1.1.1）	設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（ア）から（オ）までの順番のとおりとし、これにより難しい場合は、改修標準仕様書1.1.8（疑義に対する協議等）による。 （ア）質問回答書（イ）から（オ）までに対するもの （イ）現場説明書 （ウ）特記仕様書 （エ）図面 （オ）改修標準仕様書
	③ 改修の区分	・ 全館無人改修 ・ 執務並行改修（施工範囲： ）
	④ 着工時の提出図書	契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 工事用製本図面（工事用A2版）（ ）部（監督職員部、施設管理者部、事業課部、その他部） （縮小版A3版）（ ）部（監督職員部、施設管理者部、事業課部、その他部） （設計事務所により押印されたものを製本すること）
	⑤ 施工計画書・総合図・施工図（1.2.2～1.2.3）	施工計画書について、工事着手に先立ち総合施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。 工種別施工計画書については、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議し、作成し提出すること。 総合図について、建築及び別契約の関連工事と協議、調整を行い、統合した図面を作成し、監督職員に提出して承諾を受ける。なお、作成の主導は本工事で行う。 施工図について、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議する。作成した図面は監督職員の承諾を受ける。
	⑥ 工期の変更に係る資料の提出（1.1.10）	契約書に基づく工期の変更についての発注者との協議にあたり、協議の対象となる事項について、必要とする変更日数の算定根拠、変更工程表その他の協議に必要な資料を、あらかじめ監督職員に提出する。
	7 埋蔵文化財その他の物件（1.1.12）	重機による掘削調査等について協力すること。
	8 電気保安技術者（1.3.3）	配置する
	⑨ 施工条件（1.3.5）	施工日時 ◎ 指定なし（「行政機関の休日に関する法律」に定める行政機関の休日は施工しない。） ・ 指定有り（ ） 工事用車両の駐車場 ◎ 指定有り（図示による） 資機材置場 ◎ 指定有り（図示による）
	⑩ 安全衛生管理体制（1.3.7）	「労働安全衛生法第30条第2項」に基づき、同条第1項に規定する安全措置を講ずべき者として指名する。
⑪ 発生材の処理等（1.3.12）	・ 発注者（施設管理者）に引渡しを要する品目（ ） 引渡し場所（ ）、引渡し時期（ ） ・ 特別管理型産業廃棄物等及び処理方法 ・ PCB（施設管理者へ引き渡し） ・ PH12.5以上の廃アルカリ 処理方法（ ） ・ 石綿含有吹付け材及び石綿含有保温材等の処理 処分方法（ ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）） ・ 石綿含有せっこうボードの処理 処分方法（ 埋立処分（管理型最終処分）） 再利用、再生資源化を図るもの（「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」における特定建設資材以外のもの） ・ がれき類 ・ 汚泥 ・ 木くず ・ 廃プラスチック類 ・ ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず ・ 金属くず ・ 発生材の品目及び処理方法（ ）	
⑫ 環境への配慮（1.4.1）	「山口県グリーン購入の推進方針」及び「グリーン購入ガイド」（以下「グリーン購入」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 使用する材料等は、設計図書で定める性能等を有するとともに、次のことを満たすものとする。	

⑬ 建築材料等（1.4.1～6）	<ol style="list-style-type: none"> 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリヤ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放射させないか放射が極めて少ないもの。 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放射させないか放射が極めて少ないもの。 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射させないか放射が極めて少ないもの。 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射させないか放射が極めて少ないもの。 1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放射させないか放射が極めて少ないもの。 <ol style="list-style-type: none"> 使用する材料の選定は、設計図書に指定されたもの、JIS、JAS、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」（以下「評価名簿」という）による。 製材等、フローリング又は再生木質ボード、コンクリートに使用するせき板の材料は、グリーン購入法の基本方針の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁作成）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。 「山口県ふるさと産業振興条例」の趣旨を踏まえ、施工する工事に要する資材の調達に当たり、指定主要資材については、県内産資材（県内工場等で製造した資材）を購入すること。（「入札条件及び指示事項」による） 																												
14 施工数量調査（1.6.2）	<p>調査範囲 ・ 外壁（庇共） ・ 笠木天端共 ・ 図示による</p> <p>調査方法 ・ テストハンマーによる打診及び目視 ・</p> <p>調査要領 ・ 「外壁の改修工法選定フロー」による</p> <p>報告書 ・ 外壁調査は、上記の調査要領により外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ等の位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行い、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 受注者等が行う事前調査は、発注者が実施設計業務において行った事前調査の結果を確認することをい、改修標準仕様書における「施工調査」のうち「施工計画調査」（施工計画図作成のための調査）とする。 調査は、関係法令等に指定された所定の有資格者が行うものとする。 事前調査の結果（報告書：任意様式）を監督職員に2部提出する。 <p>補修方法 ・ 図示による ・</p>																												
⑭ 石綿含有建材の事前調査及び施工計画調査（1.5.1）（1.6.1）	<p>技能士の適用は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事別</th> <th>適用職種</th> <th>工事別</th> <th>適用職種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設</td> <td>・ とび</td> <td>内装改修</td> <td>・ 建築大工 ・ 建築板金 ・ 左官 ・ 表装 ・ タイル張り</td> </tr> <tr> <td>防水改修</td> <td>・ アスファルト防水 ◎ 改質アスファルトシート防水 ◎ カルゴム系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング 防水</td> <td></td> <td>・ 内装仕上げ施工の各工種作業 ・ 鋼製下地 ・ ボード 仕上げ ・ プラスチック系床</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>塗装改修</td> <td>・ 塗装</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>躯体改修</td> <td>・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート圧送施工 ・ 鉄工</td> </tr> <tr> <td>外壁改修</td> <td>・ 樹脂接着剤注入施工 ・ 左官 ・ タイル張り</td> <td>屋根改修</td> <td>・ 建築板金（内外装板金作業）</td> </tr> <tr> <td>建具改修</td> <td>・ サッシ施工 ・ ガラス施工</td> <td></td> <td>・ かわらぶき</td> </tr> </tbody> </table>	工事別	適用職種	工事別	適用職種	仮設	・ とび	内装改修	・ 建築大工 ・ 建築板金 ・ 左官 ・ 表装 ・ タイル張り	防水改修	・ アスファルト防水 ◎ 改質アスファルトシート防水 ◎ カルゴム系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング 防水		・ 内装仕上げ施工の各工種作業 ・ 鋼製下地 ・ ボード 仕上げ ・ プラスチック系床			塗装改修	・ 塗装			躯体改修	・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート圧送施工 ・ 鉄工	外壁改修	・ 樹脂接着剤注入施工 ・ 左官 ・ タイル張り	屋根改修	・ 建築板金（内外装板金作業）	建具改修	・ サッシ施工 ・ ガラス施工		・ かわらぶき
工事別	適用職種	工事別	適用職種																										
仮設	・ とび	内装改修	・ 建築大工 ・ 建築板金 ・ 左官 ・ 表装 ・ タイル張り																										
防水改修	・ アスファルト防水 ◎ 改質アスファルトシート防水 ◎ カルゴム系塗膜防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ 塩化ビニル系シート防水 ・ シーリング 防水		・ 内装仕上げ施工の各工種作業 ・ 鋼製下地 ・ ボード 仕上げ ・ プラスチック系床																										
		塗装改修	・ 塗装																										
		躯体改修	・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート圧送施工 ・ 鉄工																										
外壁改修	・ 樹脂接着剤注入施工 ・ 左官 ・ タイル張り	屋根改修	・ 建築板金（内外装板金作業）																										
建具改修	・ サッシ施工 ・ ガラス施工		・ かわらぶき																										
16 施工数量調査のための破壊部分の補修（1.6.3）																													
⑮ 化学物質の濃度測定（1.7.9）	<p>測定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定する。（提出部数 1部）</p> <p>測定対象室及び測定箇所数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・ （ 箇所）</td> <td>・ （ 箇所）</td> </tr> <tr> <td>・ （ 箇所）</td> <td>・ （ 箇所）</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法及び測定対象化学物質</p> <ul style="list-style-type: none"> 予備濃度測定 測定方法（ ・ 検知管法 ・ ） 測定対象化学物質 ホルムアルデヒド・トルエン 引渡し前濃度測定 測定方法（ ） 測定に要する資機材は受注者が準備する。 学校施設の場合 ・ 厚生労働省の標準測定法 ・ 学校施設以外の場合 ・ パッシブ型採取機器 ・ 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定 	・ （ 箇所）	・ （ 箇所）	・ （ 箇所）	・ （ 箇所）																								
・ （ 箇所）	・ （ 箇所）																												
・ （ 箇所）	・ （ 箇所）																												
19 技術検査（1.8.2）	<p>技術検査に必要な資機材等は以下による。</p> <p>バケツ、懐中電灯、木槌、鏡、脚立、ドライバー、チョーク、下げ張り、レベル、スコップ、スチールテープ（50m程度）、散水ホース、ガラス厚を測定する器具、その他監督職員が指示する資機材</p> <p>下記のものを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>規格</th> <th>撮影時期</th> <th>撮影場所</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラー</td> <td>サービス版（L版）</td> <td>着工前、施工中、完成</td> <td>適宜</td> <td>1部</td> <td>電子データ共</td> </tr> </tbody> </table>	分類	規格	撮影時期	撮影場所	部数	備考	カラー	サービス版（L版）	着工前、施工中、完成	適宜	1部	電子データ共																
分類	規格	撮影時期	撮影場所	部数	備考																								
カラー	サービス版（L版）	着工前、施工中、完成	適宜	1部	電子データ共																								
⑯ 工事写真																													

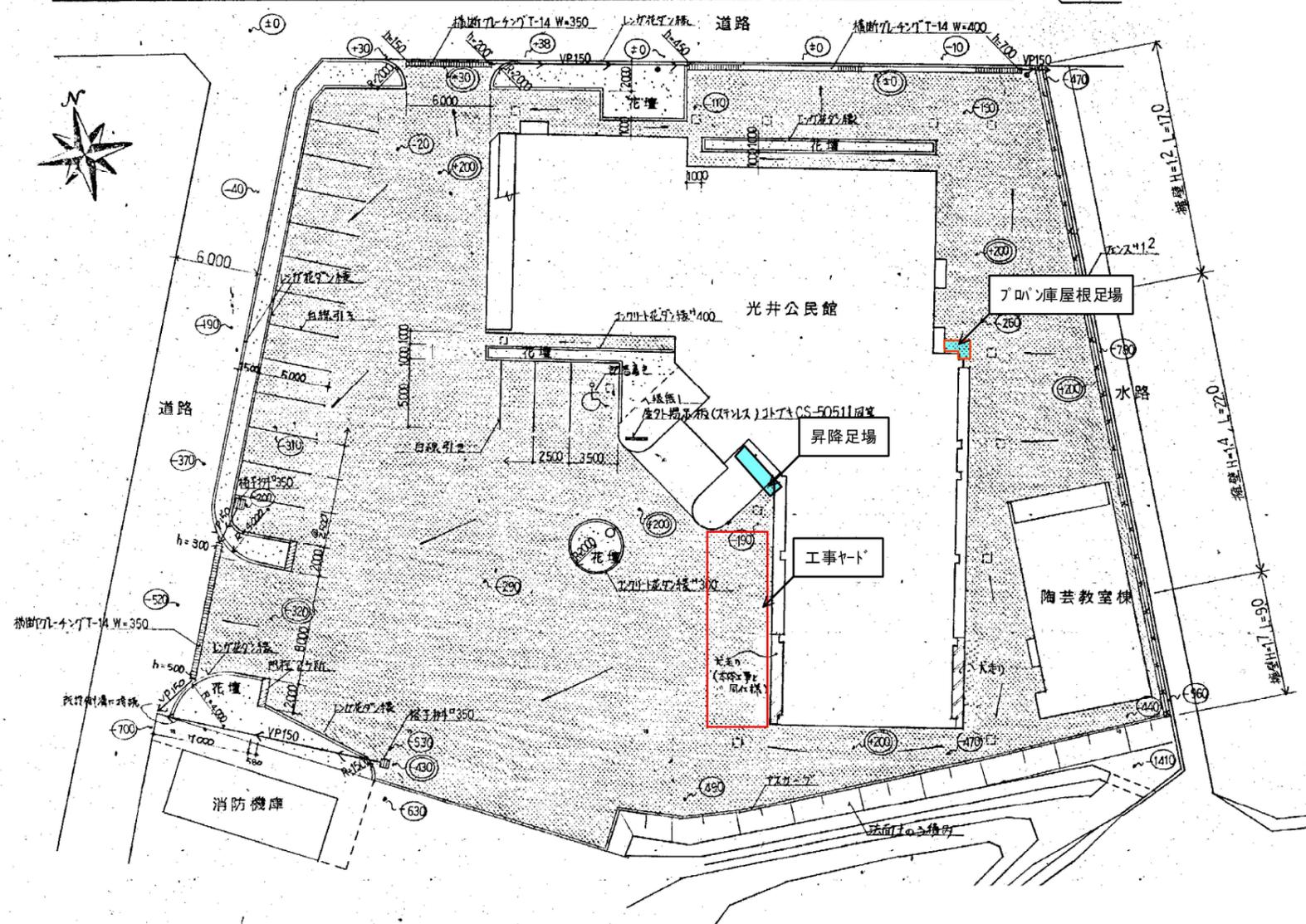
⑰ 完成写真	電子データの提出方法については「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック」、「営繕工事写真撮影要領（最新版）」及び「デジタル工事写真の黒板情報電子基準」による。 下記のを監督職員に提出する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>規格等</th> <th>撮影箇所</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 電子データ（CD-R）</td> <td></td> <td>箇所</td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table>	分類	規格等	撮影箇所	部数	・ 電子データ（CD-R）		箇所	1部																																																																																															
	分類	規格等	撮影箇所	部数																																																																																																					
・ 電子データ（CD-R）		箇所	1部																																																																																																						
⑱ 完成時の提出図書等（1.9.1～3）	<p>写真の撮影箇所を記入すること。（電子データの写真のファイル名も同様）</p> <p>電子データの提出方法については「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。</p> <p>作成方法は「山口県営繕工事完成図作成要領」、「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。</p> <p>次に記載されていない事項は、監督職員の指示による。</p> <p>完成図は、以下による。 表1.8.1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記入内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 配置図及び案内図</td> <td>敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽</td> </tr> <tr> <td>・ 各階平面図</td> <td>室名、室面積、耐震壁</td> </tr> <tr> <td>・ 各立面図</td> <td>外壁仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 断面図</td> <td>階高、天井高等を表示し、2面以上作成</td> </tr> <tr> <td>・ 仕上表</td> <td>屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等</td> </tr> <tr> <td>・ 施工図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 施工計画書</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>完成図の作成、提出</p> <p>黒表紙付きA4版（年度、工事名、工期、施工業者名を金文字で記入）に下記図面を製本したもの。 ・ 完成図（確認済証、検査済証、施工体系図、保証書（以下参照）、VOC測定結果（合格）の写し共） 作成部数：学校施設の場合1部、学校施設以外の場合2部</p> <p>製本図面A2版（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に下記図面を製本したもの。 ・ 完成図 作成部数（ 2 ）部</p> <p>保全に関する資料（取扱説明書、性能試験成績書、その他監督職員が指示するもの） 提出部数 ・ 1部 ・ 2部 ・ （ ）部 ・ 不要 保証書 ・ 防水 保証期間（ ・ 工事引渡日の翌日から10年 ・ 年） 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。</p>	種類	記入内容	・ 配置図及び案内図	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽	・ 各階平面図	室名、室面積、耐震壁	・ 各立面図	外壁仕上げ	・ 断面図	階高、天井高等を表示し、2面以上作成	・ 仕上表	屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等	・ 施工図		・ 施工計画書																																																																																									
種類	記入内容																																																																																																								
・ 配置図及び案内図	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽																																																																																																								
・ 各階平面図	室名、室面積、耐震壁																																																																																																								
・ 各立面図	外壁仕上げ																																																																																																								
・ 断面図	階高、天井高等を表示し、2面以上作成																																																																																																								
・ 仕上表	屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等																																																																																																								
・ 施工図																																																																																																									
・ 施工計画書																																																																																																									
23 著作権																																																																																																									
24 設備工事との取り合い	<p>設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図及び総合図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備工事との取り合い</th> <th>建築</th> <th>電気</th> <th>機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込壁、ブルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ</td> <td>開口部補強 電気のスリーブ等 機械のスリーブ等</td> <td>◎ ◎ ◎</td> <td>・ ・ ◎</td> </tr> <tr> <td>埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び地下補強</td> <td>切込み及び補強 電気墨出し 機械墨出し</td> <td>◎ ◎ ◎</td> <td>・ ・ ◎</td> </tr> <tr> <td>電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）</td> <td>基礎及びビット 電気墨出し</td> <td>◎ ◎</td> <td>・ ・</td> </tr> <tr> <td>天井点検口</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨壁のボックス取付用下地</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>機器類の吊りボルト用インサート</td> <td>電気設備 機械設備</td> <td>・ ・</td> <td>◎ ◎</td> </tr> <tr> <td>機器類の取付け用アンカーボルト</td> <td>電気設備 機械設備</td> <td>・ ・</td> <td>◎ ◎</td> </tr> <tr> <td>コンクリート基礎（外灯設備）</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート基礎（機械設備機器類）</td> <td>屋上設置 屋内設置 屋外設置</td> <td>◎ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> </tr> <tr> <td>オイルサービスタンク防油堤</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>外壁取付けガラリ</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の</td> <td>1次側 2次側（盤含む）</td> <td>・ ◎</td> <td>・ ・</td> </tr> <tr> <td>配管・配線</td> <td>1次側 2次側（盤含む）</td> <td>◎ ◎</td> <td>・ ・</td> </tr> <tr> <td>機械設備工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線</td> <td>1次側 2次側（盤含む）</td> <td>◎ ◎</td> <td>・ ◎</td> </tr> <tr> <td>機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線（アース共）</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>換気機器用のスイッチの配管・配線及びスイッチ取付</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	設備工事との取り合い	建築	電気	機械	鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込壁、ブルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強 電気のスリーブ等 機械のスリーブ等	◎ ◎ ◎	・ ・ ◎	埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び地下補強	切込み及び補強 電気墨出し 機械墨出し	◎ ◎ ◎	・ ・ ◎	電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット 電気墨出し	◎ ◎	・ ・	天井点検口	◎	◎	・	軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	◎	◎	・	機器類の吊りボルト用インサート	電気設備 機械設備	・ ・	◎ ◎	機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備 機械設備	・ ・	◎ ◎	コンクリート基礎（外灯設備）	◎	◎	・	コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置 屋内設置 屋外設置	◎ ・ ・	・ ・ ・	オイルサービスタンク防油堤	◎	◎	・	自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ	◎	◎	・	OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強	◎	◎	・	OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強	◎	◎	・	外壁取付けガラリ	◎	◎	・	換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）	◎	◎	・	建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の	1次側 2次側（盤含む）	・ ◎	・ ・	配管・配線	1次側 2次側（盤含む）	◎ ◎	・ ・	機械設備工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側 2次側（盤含む）	◎ ◎	・ ◎	機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続	◎	◎	・	エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管	◎	◎	・	エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線	◎	◎	・	エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付	◎	◎	◎	エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線（アース共）	◎	◎	◎	換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）	◎	◎	・	換気機器用のスイッチの配管・配線及びスイッチ取付	◎	◎	・
設備工事との取り合い	建築	電気	機械																																																																																																						
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込壁、ブルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強 電気のスリーブ等 機械のスリーブ等	◎ ◎ ◎	・ ・ ◎																																																																																																						
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び地下補強	切込み及び補強 電気墨出し 機械墨出し	◎ ◎ ◎	・ ・ ◎																																																																																																						
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット 電気墨出し	◎ ◎	・ ・																																																																																																						
天井点検口	◎	◎	・																																																																																																						
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	◎	◎	・																																																																																																						
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備 機械設備	・ ・	◎ ◎																																																																																																						
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備 機械設備	・ ・	◎ ◎																																																																																																						
コンクリート基礎（外灯設備）	◎	◎	・																																																																																																						
コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置 屋内設置 屋外設置	◎ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																						
オイルサービスタンク防油堤	◎	◎	・																																																																																																						
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ	◎	◎	・																																																																																																						
OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強	◎	◎	・																																																																																																						
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強	◎	◎	・																																																																																																						
外壁取付けガラリ	◎	◎	・																																																																																																						
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）	◎	◎	・																																																																																																						
建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の	1次側 2次側（盤含む）	・ ◎	・ ・																																																																																																						
配管・配線	1次側 2次側（盤含む）	◎ ◎	・ ・																																																																																																						
機械設備工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側 2次側（盤含む）	◎ ◎	・ ◎																																																																																																						
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続	◎	◎	・																																																																																																						
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管	◎	◎	・																																																																																																						
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線	◎	◎	・																																																																																																						
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付	◎	◎	◎																																																																																																						
エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線（アース共）	◎	◎	◎																																																																																																						
換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）	◎	◎	・																																																																																																						
換気機器用のスイッチの配管・配線及びスイッチ取付	◎	◎	・																																																																																																						

年度	7	工事名	光井コミュニティセンター屋上防水等改修工事	建築改修工事特記仕様書10-1	—
	光市建築住宅課		級建築士登録 第 号 印	設計変更 回	—

25	撤去部分	設備工事との取り合い	建築	電気	機械	⑦	工事現場における 掲示物等	「建設業法」及び「公共工事の入札及び契約の適正化に関する法律」等に基づき、必要な掲示物を工事現場に掲示すること。 (例)建設業の許可票(元請業者のみ)、労災保険関係成立票、建設業退職金共済制度加入現場ステッカー、施工体系図、石綿調査結果、再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書 (石綿調査結果記載例 ※A3以上とすること)	6	1	一般事項	生コンクリートの配合計画書を事前に監督職員に提出すること。		
		機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線	・	○	・							2	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度	施工時期(適用時期)は当該工事現場における生コンクリート組合の適合表による。 ・普通コンクリート ・軽量コンクリート
26	耐荷重及び耐外力	擬音装置の埋込ボックス	・	・	○	⑧	指定仮設物等	適用は以下のとおりとし、仕様は図示による ・仮囲い ・ゲート ・敷き鉄板 ・交通誘導員A(人) ・交通誘導員B(人) ○その他(仮設便所)	3	1	コンクリートの種類 (8.1.3)	設計基準強度Fc (N/mm2)	スラブ (cm)	適用箇所
27	工事の一時中止に係る計画の作成 (1.1.9)	電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線	・	○	・							4	コンクリートの 仕上り(8.1.4)	・15cm ・18cm
②	①	足場等 (2.2.1)	ガス給湯器のアース配線	・	・	3	埋戻し及び盛土 (8.28.3)	種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 建設汚泥から再生した処理土または主用水砕スラグ 構外指示の場所に処分(残土処理場(市))	表3.2.1	6	2	調査管理強度 (8.2.5)	表8.1.4	表8.2.4
			屋内、屋外雨水管	○	・								・	5
②	②	騒音・粉じん等の 対策(2.1.3)	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配管	・	○	4	捨コンクリート 地業 (8.28.4)	厚さ ・60mm 使用範囲 ・基礎下 ・地中梁下	表8.2.1	7	7	型枠のせき板 (8.2.7)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	6
②	3	既存部分の養生 (2.3.1)	ガス給湯器のアース配線	・	・	5	鉄筋 (8.2.1)	鉄筋の種類 規格番号 種類 規格名称 径	表8.2.1	8	8	既存部分の撤去 (8.21.2)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	7
②	4	仮設間仕切り (2.3.2)	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	6	溶接金網 (8.2.2)	規格番号 網目の形状 寸法及び鉄線の径 施工箇所	表8.2.1	9	9	既存部分の処理 (8.21.3)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	8
②	5	監督職員事務所 (2.4.1)	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	7	継手及び定着 (8.3.4)	鉄筋の継手方法等 ガス圧接は、原則D19以上を対象とする。	表8.2.1	10	10	コンクリートの 打ち込み(8.21.8)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	9
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	8	壁の配筋及び補強 (8.3.7)	図示による。	表8.2.1	11	11	既存構造体との 取合い(8.21.9)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	10
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	9	圧接部・継手の試験 (8.3.8)	試験を行う継手の方法 外観試験 抜取試験	表8.2.1	12	12	鋼材 (8.2.8)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	11
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	10	帯筋	図示による。	表8.2.1	13	13	高力ボルト (8.2.9)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	12
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	11	壁の配筋及び補強 (8.3.7)	図示による。	表8.2.1	14	14	溶接部の試験 (8.15.12)	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	13
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	12	圧接部・継手の試験 (8.3.8)	試験を行う継手の方法 外観試験 抜取試験	表8.2.1	15	15	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	14
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	13	帯筋	図示による。	表8.2.1	16	16	ねじの呼び 溶接部の試験 図示による	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	15
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	14	帯筋	図示による。	表8.2.1	17	17	完全溶込み溶接の超音波探傷試験 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	16
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	15	帯筋	図示による。	表8.2.1	18	18	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	17
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	16	帯筋	図示による。	表8.2.1	19	19	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	18
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	17	帯筋	図示による。	表8.2.1	20	20	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	19
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	18	帯筋	図示による。	表8.2.1	21	21	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	20
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	19	帯筋	図示による。	表8.2.1	22	22	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	21
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	20	帯筋	図示による。	表8.2.1	23	23	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	22
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	21	帯筋	図示による。	表8.2.1	24	24	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	23
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	22	帯筋	図示による。	表8.2.1	25	25	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	24
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	23	帯筋	図示による。	表8.2.1	26	26	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	25
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	24	帯筋	図示による。	表8.2.1	27	27	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	26
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	25	帯筋	図示による。	表8.2.1	28	28	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	27
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	26	帯筋	図示による。	表8.2.1	29	29	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	28
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	27	帯筋	図示による。	表8.2.1	30	30	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	29
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	28	帯筋	図示による。	表8.2.1	31	31	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	30
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	29	帯筋	図示による。	表8.2.1	32	32	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	31
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	30	帯筋	図示による。	表8.2.1	33	33	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	32
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	31	帯筋	図示による。	表8.2.1	34	34	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	33
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	32	帯筋	図示による。	表8.2.1	35	35	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	34
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	33	帯筋	図示による。	表8.2.1	36	36	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	35
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	34	帯筋	図示による。	表8.2.1	37	37	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	36
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	35	帯筋	図示による。	表8.2.1	38	38	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	37
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	36	帯筋	図示による。	表8.2.1	39	39	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	38
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	37	帯筋	図示による。	表8.2.1	40	40	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	39
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	38	帯筋	図示による。	表8.2.1	41	41	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	40
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	39	帯筋	図示による。	表8.2.1	42	42	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	41
②	6	工事表示板	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	40	帯筋	図示による。	表8.2.1	43	43	鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	表8.1.4	表8.2.4
			電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・								○	42
②	6	工事表示板												

<p>⑧ 防水改修工事</p> <p>① 防水層の施工</p> <p>② 改修工法の種類及び工程 (3.1.4)</p> <p>3 改修用ルーフトレン (3.2.5)</p> <p>④ 既存下地の処理・調整 (3.2.6)</p> <p>5 アスファルト防水 (3.3.2~5)</p>	<p>防水層の下地 含水率8%以下</p> <p>既存防水層(立上り部等)及び保護層の撤去 行う 行わない 表3.1.1</p> <p>保護層の新設 行う(保護層の仕様) 行わない</p> <p>シーリング改修工法の種類 表3.1.2</p> <ul style="list-style-type: none"> シーリング充填工法 拡幅シーリング再充填工法 シーリング再充填工法 ブリッジ工法 <p>POAS工法、POASI工法、POD工法、PODI工法、POS工法、POSI工法、及びPOX工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 設ける(取付け方法等 新設防水材製造所の仕様) 設けない <p>既存下地の処理・調整 補修箇所の形状、長さ、数量等は図示による</p> <p>既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修(POS工法及びPOSI工法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(e)①~③による <p>設備機械架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部等の納まり部 標準詳細図5- による 図示による</p> <p>適用箇所 図示による</p> <p>屋根保護防水断熱工法の断熱材 厚さ 25mm 50mm</p> <p>屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ 25mm 50mm</p> <p>保護層等材料 成形伸縮目地材(製造所:評価名簿による) 表3.3.1</p> <p>防水層の種類 表3.3.3~10</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>新設防水層の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P1B工法</td> <td>・B-1 ・B-2</td> <td></td> <td rowspan="3">立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置()</td> </tr> <tr> <td>・P1BI工法</td> <td>・BI-1 ・BI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2AI工法</td> <td>・AI-1 ・AI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2A工法</td> <td>・A-1 ・A-2</td> <td></td> <td rowspan="2">仕上塗料種類()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・A-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4C工法</td> <td>・C-1 ・C-2</td> <td></td> <td rowspan="4">仕上塗料種類()</td> </tr> <tr> <td>・POD工法</td> <td>・C-3 ・C-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3D工法</td> <td>・D-1 ・D-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PODI工法</td> <td>・DI-1 ・DI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3DI工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4DI工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1E工法</td> <td>・E-1 ・E-2</td> <td></td> <td rowspan="2">保護層 あり なし</td> </tr> <tr> <td>・P2E工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による</p> <p>保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ() コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 立上り部の保護、屋根排水溝の設置は図示による。</p> <p>屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ 25mm 50mm</p> <p>防水層の種類 表3.4.1~3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>新設防水層の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POAS工法</td> <td>・AS-T3 ①AS-T4</td> <td></td> <td rowspan="3">仕上塗料種類(遮熱コート)</td> </tr> <tr> <td>・M3AS工法</td> <td>・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4AS工法</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・POASI工法</td> <td>②AS-J2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3ASI工法</td> <td>・ASI-T1 ・ASI-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4ASI工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による</p> <p>屋根露出防水断熱工法の防湿層</p> <ul style="list-style-type: none"> 設ける(改質アスファルト製造所の仕様による) 設けない 	工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考	・P1B工法	・B-1 ・B-2		立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置()	・P1BI工法	・BI-1 ・BI-2		・P2AI工法	・AI-1 ・AI-2		・P2A工法	・A-1 ・A-2		仕上塗料種類()		・A-3		・M4C工法	・C-1 ・C-2		仕上塗料種類()	・POD工法	・C-3 ・C-4		・M3D工法	・D-1 ・D-2		・PODI工法	・DI-1 ・DI-2		・M3DI工法				・M4DI工法				・P1E工法	・E-1 ・E-2		保護層 あり なし	・P2E工法			工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考	・POAS工法	・AS-T3 ①AS-T4		仕上塗料種類(遮熱コート)	・M3AS工法	・AS-J1 ・AS-J3		・M4AS工法	・AS-T1 ・AS-T2		・POASI工法	②AS-J2			・M3ASI工法	・ASI-T1 ・ASI-J1			・M4ASI工法				<p>7 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2~4)</p> <p>材料 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鉄板(厚さ0.4mm以上) ステンレス鋼板(厚さ0.4mm以上) 断熱材 材質 改修標準仕様書3.5.2(x)による 厚さ 25mm 50mm</p> <p>防水層の種類 表3.5.1~3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>新設防水層の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・POS工法</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td></td> <td rowspan="4">仕上塗料種類() 軽歩行仕様 非歩行仕様 防湿用フィルム あり なし</td> </tr> <tr> <td>・POSI工法</td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4S工法</td> <td>・S-M3 ・SI-F1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S4SI工法</td> <td>・SI-F2 ・SI-M1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S工法</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・S3SI工法</td> <td>・SI-F1 ・SI-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S工法</td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・M4SI工法</td> <td>・S-M3 ・SI-M1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・SI-M2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1S工法</td> <td>・S-C1</td> <td></td> <td>保護モルタル 塗厚()</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による</p> <p>施工 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシート張付け 「建築基準法」に基づき定まる風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3)倍の耐風圧性能</p> <p>防水層の種類 表3.6.1~2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>新設防水層の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ウレタンゴム系 塗膜防水</td> <td>・X-1 ①X-2</td> <td></td> <td rowspan="2">仕上塗料種類(遮熱コート)</td> </tr> <tr> <td>・ゴムアスファルト系 塗膜防水</td> <td>・Y-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による</p> <p>種類及び施工箇所 図示以外は表3.7.11による</p> <p>目地寸法 図示による</p> <p>仕上げ あり なし</p> <p>接着性試験 簡易接着性試験(改修標準仕様書3.7.8(2)(7)による) 引張接着性試験(JIS A 1439) 実績に基づく試験成績書</p> <p>表3.8.1</p> <p>材種 配管用鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(カラー) ステンレス管</p> <p>鋼管製との防露 行う(表3.8.4 図示による) 行わない</p> <p>10 シーリングの試験 (3.7.8)</p> <p>11 とい (3.8.2~3)</p> <p>12 アルミニウム製笠木 (3.9.2~3)</p> <p>押出し形材 部材の種類 250形 300形 350形 表3.9.1 表面処理 BB-1種 BB-2種 表5.2.2 コーナー部及び突当り部等の役物 製造所の仕様による</p> <p>曲げ材 幅 板厚 2.0mm 表面処理 BB-1種 BB-2種 表5.2.2</p> <p>笠木の固定金具の工法 「建築基準法」に基づき定まる風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3)倍の耐風圧性能</p>	工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考	・POS工法	・S-F1 ・S-F2		仕上塗料種類() 軽歩行仕様 非歩行仕様 防湿用フィルム あり なし	・POSI工法	・S-M1 ・S-M2		・S4S工法	・S-M3 ・SI-F1		・S4SI工法	・SI-F2 ・SI-M1		・S3S工法	・S-F1 ・S-F2			・S3SI工法	・SI-F1 ・SI-F2		・M4S工法	・S-M1 ・S-M2			・M4SI工法	・S-M3 ・SI-M1			・SI-M2			・P1S工法	・S-C1		保護モルタル 塗厚()	工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考	・ウレタンゴム系 塗膜防水	・X-1 ①X-2		仕上塗料種類(遮熱コート)	・ゴムアスファルト系 塗膜防水	・Y-2		<p>9 1 1 2 外壁改修工事(コンクリート打放し仕上げ外壁)</p> <p>1 3 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁)</p> <p>9 1 2 外壁改修工事(モルタルを撤去して改修)</p>	<p>1 材料 (4.2.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法用材料 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024) Uカットシール材充填工法用材料 シーリング材料 ポリウレタン系(1成分形 2成分形) 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ポリマーセメントモルタル(製造所:評価名簿による) シール工法用材料 パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ポリマーセメントモルタル(製造所:評価名簿による) 樹脂注入工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>注入間隔</th> <th>注入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・200~300mm</td> <td>・ml</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td>・ml</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td>・ml</td> </tr> </tbody> </table> <p>ひび割れ部の注入状況確認方法 コア抜き取り 注入量測定 採取個数 500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 エポキシ樹脂モルタル充填 Uカットシール材充填工法 シーリング材を充填(接着性試験 行う 行わない) ポリマーセメントモルタル充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂を充填 <p>2 ひび割れ部改修工法 (4.2.2) (4.2.5~7)</p> <p>3 欠損部改修工法 (4.2.3) (4.2.8)</p> <p>9 1 3 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁)</p> <p>1 材料 (4.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法用材料 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024) Uカットシール材充填工法用材料 シーリング材料 ポリウレタン系(1成分形 2成分形) 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) ポリマーセメントモルタル(製造所:評価名簿による) シール工法用材料 パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル(JIS A 6024) ポリマーセメントモルタル(製造所:評価名簿による) モルタル塗替え工法用材料 モルタル 現場調査材料 既調査材料 吸水調整材(製造所:評価名簿による) アンカーピンニング注入工法用材料 エポキシ樹脂 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024) パテ状エポキシ樹脂(JIS A 6024) ポリマーセメントスラリー(実績等の資料を監督職員に提出) アンカーピンの材質等 ステンレス鋼(SUS304)(呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工) 注入口付アンカーピンニング注入工法用材料 エポキシ樹脂 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024) ポリマーセメントスラリー(実績等の資料を監督職員に提出) 注入口付アンカーピンの材質等 ステンレス鋼(SUS304)(呼び径は外径6mm) <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>注入間隔</th> <th>注入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・200~300mm</td> <td>・ml</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td>・ml</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td>・ml</td> </tr> </tbody> </table> <p>ひび割れ部の注入状況確認方法 コア抜き取り 注入量測定 コア抜き取りによるひび割れ部の注入状況確認 行う 行わない 採取個数 500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 エポキシ樹脂モルタル充填 Uカットシール材充填工法 シーリング材を充填(接着性試験 行う 行わない) ポリマーセメントモルタル充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂を充填 </p></p>	工法	注入間隔	注入量	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	・200~300mm	・ml	・手動式エポキシ樹脂注入工法		・ml	・機械式エポキシ樹脂注入工法		・ml	工法	注入間隔	注入量	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	・200~300mm	・ml	・手動式エポキシ樹脂注入工法		・ml	・機械式エポキシ樹脂注入工法		・ml
	工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考																																																																																																																																																					
	・P1B工法	・B-1 ・B-2		立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置()																																																																																																																																																					
	・P1BI工法	・BI-1 ・BI-2																																																																																																																																																							
	・P2AI工法	・AI-1 ・AI-2																																																																																																																																																							
	・P2A工法	・A-1 ・A-2		仕上塗料種類()																																																																																																																																																					
	・A-3																																																																																																																																																								
・M4C工法	・C-1 ・C-2		仕上塗料種類()																																																																																																																																																						
・POD工法	・C-3 ・C-4																																																																																																																																																								
・M3D工法	・D-1 ・D-2																																																																																																																																																								
・PODI工法	・DI-1 ・DI-2																																																																																																																																																								
・M3DI工法																																																																																																																																																									
・M4DI工法																																																																																																																																																									
・P1E工法	・E-1 ・E-2		保護層 あり なし																																																																																																																																																						
・P2E工法																																																																																																																																																									
工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考																																																																																																																																																						
・POAS工法	・AS-T3 ①AS-T4		仕上塗料種類(遮熱コート)																																																																																																																																																						
・M3AS工法	・AS-J1 ・AS-J3																																																																																																																																																								
・M4AS工法	・AS-T1 ・AS-T2																																																																																																																																																								
・POASI工法	②AS-J2																																																																																																																																																								
・M3ASI工法	・ASI-T1 ・ASI-J1																																																																																																																																																								
・M4ASI工法																																																																																																																																																									
工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考																																																																																																																																																						
・POS工法	・S-F1 ・S-F2		仕上塗料種類() 軽歩行仕様 非歩行仕様 防湿用フィルム あり なし																																																																																																																																																						
・POSI工法	・S-M1 ・S-M2																																																																																																																																																								
・S4S工法	・S-M3 ・SI-F1																																																																																																																																																								
・S4SI工法	・SI-F2 ・SI-M1																																																																																																																																																								
・S3S工法	・S-F1 ・S-F2																																																																																																																																																								
・S3SI工法	・SI-F1 ・SI-F2																																																																																																																																																								
・M4S工法	・S-M1 ・S-M2																																																																																																																																																								
・M4SI工法	・S-M3 ・SI-M1																																																																																																																																																								
	・SI-M2																																																																																																																																																								
・P1S工法	・S-C1		保護モルタル 塗厚()																																																																																																																																																						
工法	新設防水層の種類	施工箇所	備考																																																																																																																																																						
・ウレタンゴム系 塗膜防水	・X-1 ①X-2		仕上塗料種類(遮熱コート)																																																																																																																																																						
・ゴムアスファルト系 塗膜防水	・Y-2																																																																																																																																																								
工法	注入間隔	注入量																																																																																																																																																							
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	・200~300mm	・ml																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法		・ml																																																																																																																																																							
・機械式エポキシ樹脂注入工法		・ml																																																																																																																																																							
工法	注入間隔	注入量																																																																																																																																																							
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	・200~300mm	・ml																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法		・ml																																																																																																																																																							
・機械式エポキシ樹脂注入工法		・ml																																																																																																																																																							
<p>⑥ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2~3)</p>	<p>9 1 1 1 外壁改修工法の種類 (4.1.4)</p> <p>コンクリート打放し仕上げ外壁 工法の種類 「コンクリート打放し仕上げ外壁の改修工法選定フロー」による。</p> <p>モルタル塗り仕上げ外壁 工法の種類 「モルタル塗り仕上げ外壁の改修工法選定フロー」による。</p> <p>タイル張り仕上げ外壁 工法の種類 「タイル張り仕上げ外壁の改修工法選定フロー」による。</p> <p>鉄筋腐食による劣化にかかる改修については、改修特記仕様書のA工法及びB工法による改修後の新規仕上げの種類</p> <p>2 改修後の塗り仕上げの種類 (4.1.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り(「12塗装改修工事」参照) マステック塗材塗り 外壁用塗膜防水塗り 	<p>2 ひび割れ部改修工法 (4.3.2) (4.3.6~8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>注入間隔</th> <th>注入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・200~300mm</td> <td>・ml</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td>・ml</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td></td> <td>・ml</td> </tr> </tbody> </table> <p>ひび割れ部の注入状況確認方法 コア抜き取り 注入量測定 コア抜き取りによるひび割れ部の注入状況確認 行う 行わない 採取個数 500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 エポキシ樹脂モルタル充填 Uカットシール材充填工法 シーリング材を充填(接着性試験 行う 行わない) ポリマーセメントモルタル充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂を充填 </p>	工法	注入間隔	注入量	・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	・200~300mm	・ml	・手動式エポキシ樹脂注入工法		・ml	・機械式エポキシ樹脂注入工法		・ml																																																																																																																																											
工法	注入間隔	注入量																																																																																																																																																							
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	・200~300mm	・ml																																																																																																																																																							
・手動式エポキシ樹脂注入工法		・ml																																																																																																																																																							
・機械式エポキシ樹脂注入工法		・ml																																																																																																																																																							

年度	7	工事名	光井コミュニティセンター屋上防水等改修工事	建築改修工事特記仕様書10-3	—
光市建築住宅課		級建築士登録 第 号	印	設計変更 回	—



配置図 S=1/300

凡例	
	アスファルト舗装を示す
	花壇化粧土を示す
	現況レベルを示す(北側道路±0を基準)
	計画レベルを示す(" ")
	フェンス1.2(新BUNハウス40シス同等)スリブにて
	既設格子柵
	新設格子柵

参考：アスベスト分析表

保存40冊

アスベスト分析結果報告書
報告書番号: S4S12502106

光井 様

分析依頼日: 2025/9/9
分析結果報告日: 2025/9/12
分析方法: JS A 1481-102016

株式会社アセロ
〒709-0022
広島県大竹市徳島
TEL: (0827) 59-1100
FAX: (0827) 59-1101

件名: 防水シート更新工事に伴うアスベスト調査

実施機関: 株式会社アセロテクノサービス 専任一級 検出日: 2025/9/9

報告機関: 光井コミュニティセンター
施設住所: 山口県美祿町美祿町2番25号1号

禁止事項:

分析項目: 繊維状 結晶 両方 (右欄分析結果詳細事項【詳細区分】参照 2025/03/04)

分析対象: 光井コミュニティセンター 株式会社アセロテクノサービス
調査実施機関の名称: 株式会社アセロテクノサービス 広島県建設業協会

加付品: 01/01/01 01/01/02 01/01/03 01/01/04 結果 両方 分析日: 2025/9/10

調査結果: 繊維状 結晶 両方

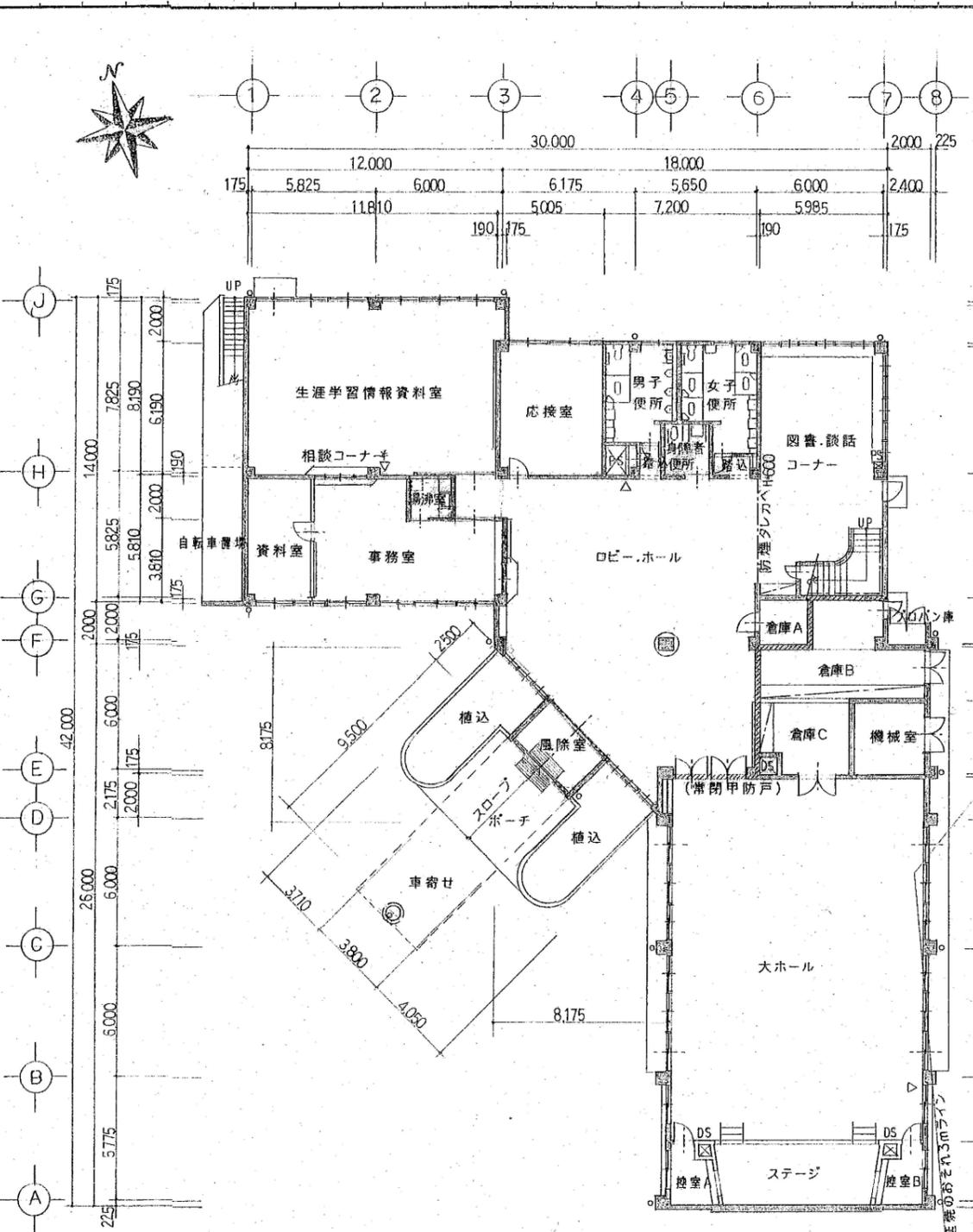
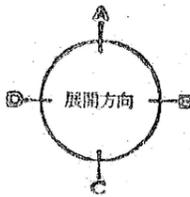
検出率: □なし □微量 □検出限界 □比値・検出率 □その他

層	種類	色	検出率	検出率	アセロ	アセロ	アセロ	アセロ	アセロ	アセロ	判定
1	防水シート	緑色	95%	-	-	-	-	-	-	-	含有なし
2	建築用セメント	赤褐色	3%	0.1-0%	-	-	-	-	-	-	含有
3	セメント材料	赤褐色	2%	-	-	-	-	-	-	-	含有なし

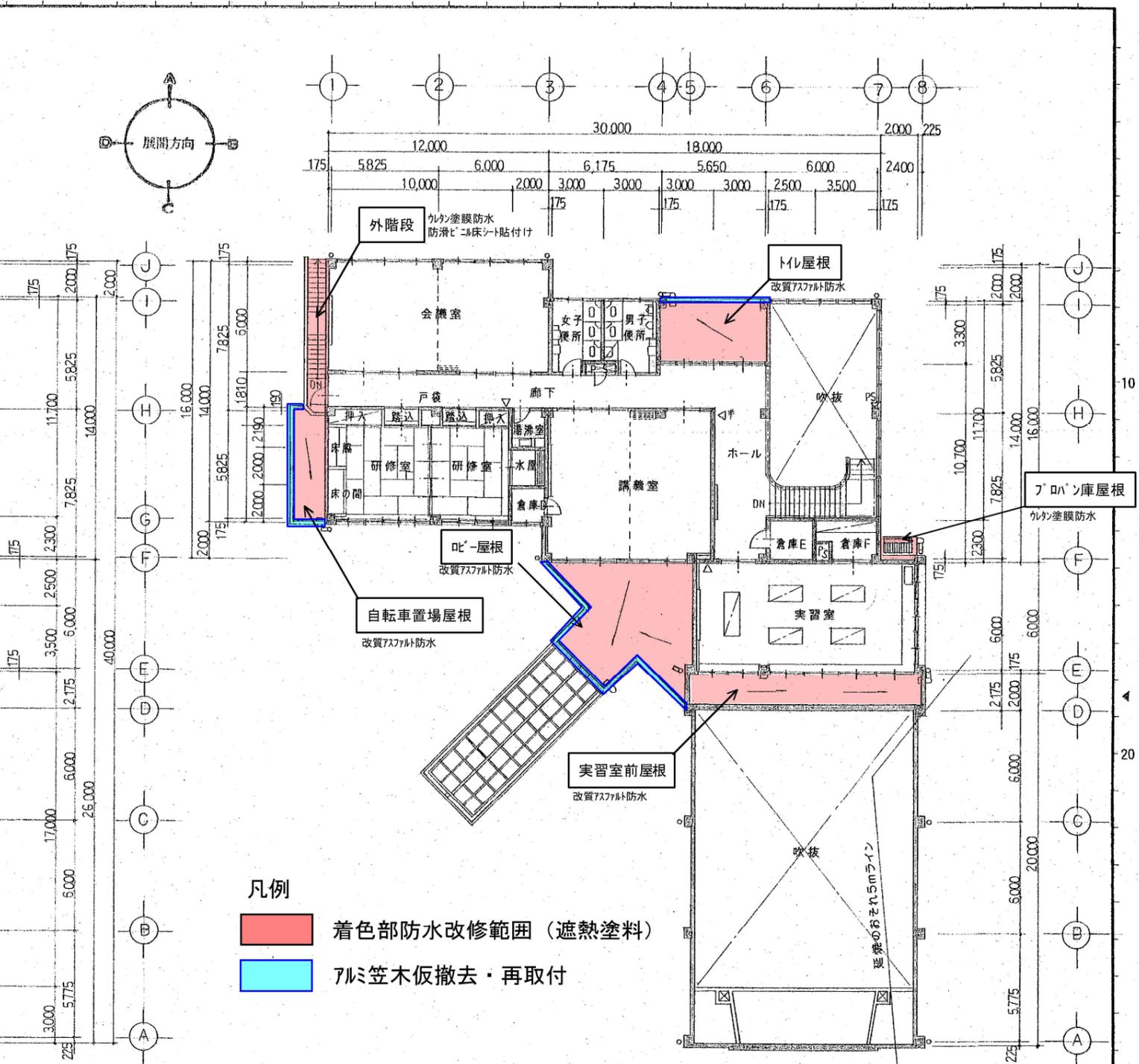
備考: 層別を分けて分析することにより、まとめて評価した。

工事概要

- ・屋上
既設シート防水層撤去 (アスベスト含有建材)
仮防水材塗布
下地清掃
改質アスファルト防水 (平場: AS-T4工法、遮熱コート仕上げ)
改質アスファルト防水 (立上り: AS-T4工法、遮熱コート仕上げ)
改質アスファルト防水 (保温管下部: AS-J2工法、遮熱コート仕上げ)
改質アスファルト塗膜防水 (キュービクル下部、高反射水性アクリル系保護塗料)
端末アルミ抑え金物取付 (I型、シーリング 共)
端末アルミ水切取付 (シーリング 共)
トレンス皿仮撤去・再取付
アルミ笠木仮撤去・再取付
配管保温撤去・新設 (φ150、L=1900、SUSラッキング)
配管足元架台撤去・復旧
ウレタン塗膜防水 (X-2工法、下地処理含: 架台天端、ハラハット頭、遮熱コート仕上げ)
 - ・トレ屋根、トレ屋根、自転車置場屋根、実習室前屋根
既設シート防水層撤去 (アスベスト含有建材)
仮防水材塗布
下地清掃
改質アスファルト防水 (平場: AS-T4工法、遮熱コート仕上げ)
改質アスファルト防水 (立上り: AS-T4工法、遮熱コート仕上げ)
端末アルミ抑え金物取付 (I型、シーリング 共)
端末アルミ水切取付 (シーリング 共)
トレンス皿仮撤去・再取付
アルミ笠木仮撤去・再取付
 - ・大ホール屋根軒樋、プロパン庫屋根
既設シート防水層撤去 (アスベスト含有建材)
下地清掃
下地処理
ウレタン塗膜防水 (X-2工法: 平場、立上り、遮熱コート仕上げ)
トレンス皿仮撤去・再取付
 - ・外階段
既設シート防水層撤去 (アスベスト含有建材)
下地清掃
下地処理
ウレタン塗膜防水 (X-2工法: 平場、立上り、遮熱コート仕上げ)
階段用防滑ビニル床シート貼付け
踊り場用防滑ビニル床シート貼付け
端末シーリング
- 共通
アスベスト対策
ハラハット天端から1m立上げ、シート養生



1階平面図 S=1/200



2階平面図 S=1/200

- 凡例
- 着色部防水改修範囲 (遮熱塗料)
 - アルミ笠木仮撤去・再取付

